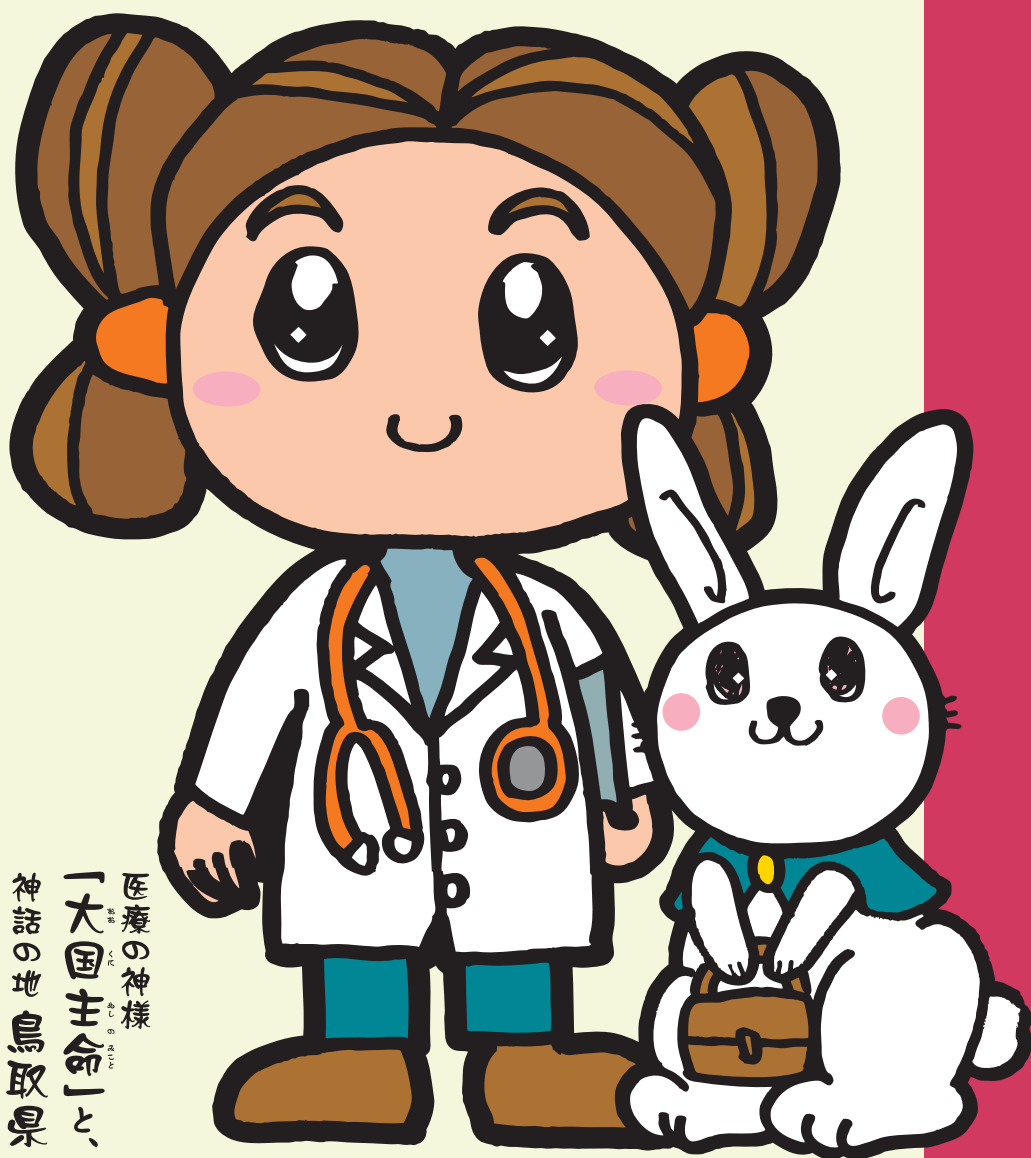


Tottori clinical training hospital

鳥取県の臨床研修

鳥取県
臨床研修病院
ガイドブック
2024

小さな
「ありがとう」
のために、
大きな
夢をのせて…。



医療の神様
「大國主命」と
神話の地鳥取県

鳥取県の臨床研修病院の概要

病院長からのメッセージ



鳥取県立中央病院 院長
ひろおか やすあき
廣岡 保明

鳥取県立中央病院は2018年12月改築され、清潔でゆったりとした外来、病棟になり、新しい医療機器も多数整備されました。130名を超える医師(研修医含)が勤務する鳥取県東部の中核病院として高度急性期医療を担っています。特に、脳血管内治療、不整脈に対するアブレーション、放射線治療(IMRT等)がんゲノム医療など東部圏域では当院でしかできない医療をはじめ、ダビンチによる手術、内視鏡治療、不妊治療、2次～3次救急(小児救急含)、緩和医療など、優秀な指導医と一緒に(マンツーマン体制)あらゆる症例を経験することができます。

現在当院では、働き方改革のみならず働きやすさ改革を推し進めており、研修医が疲労困憊してしまわないようにきちんと休養がとれる体制をも構築しています。皆さんの期待を裏切らない研修を用意してお待ちしています。



鳥取市立病院 病院長
おおいし まさひろ
大石 正博

鳥取市立病院の病院理念は1.信頼される病院、2.心温まる病院、3.楽しく働ける病院です。設立理念“楽しく働ける”を挙げている病院は珍しいと思います。当院は急性期から慢性期までの医療を担っています。急性期医療としては二次救急を中心に、昨年度は年間約2,400件の救急車を受け入れ、約3,200件の手術を行っています。また、48床の地域包括ケア病棟を有し地域医療支援病院に指定されています。急性期の治す医療だけではなく、支える医療・介護も大切にするケアミックス病院です。当院のキャッチコピーは、“ひとと地域をケアで包む”鳥取市立病院です。ひとりの患者さんを急性期から慢性期まで永く診ることで、患者さんの社会的側面を考慮しながら全人的医療のできる医師の育成を目指しています。



鳥取赤十字病院 院長
たけうち ひろみ
竹内 裕美

本院は地域医療を担う鳥取県東部の基幹病院の1つです。鳥取県庁近くの中心市街地にあり、地理的にも受診しやすいため診療所からの紹介も多く、プライマリケアに対応する基本的な疾患から高度医療を必要とする疾患まで幅広い疾患をまんべんなく経験できることが特徴の1つです。

本院は日本赤十字社の系列病院であり、赤十字社の創設理念の1つである「奉仕」の精神から、大規模災害時にDMATや救護医療チームを他の医療機関に先駆けて派遣しています。大規模災害時に備えての訓練等を経験できるのも大きな特徴です。

本院は病床数350床で医師数70人の中規模病院ですが、大規模病院にはないアットホームな雰囲気があり、研修医一人一人に対応するオーダーメイドの研修を目指していますので、1人でも多くの研修医に来ていただくことを期待しています。



鳥取生協病院 院長
みなぎ しんいち
皆木 真一

私たちは、「無差別・平等の医療」という基本理念に基づき、多職種協働で医療実践を行っています。その事は病気だけでなく、患者さんの労働・生活を見ていくことにも繋がります。その視点を大切に、研修としては、救急医療、急性期医療、亜急性期医療(地域包括ケア、回復期リハビリ)、そして緩和ケア、さらに在宅医療と、総合的臨床研修の場はここにあります。研修医と共に作る研修をしています。研修医の希望に沿った研修を目指しています。Generalistを目指す人もSpecialistを目指す人も、夢と希望を持って皆さんが来られることを強く願っています。



鳥取県立厚生病院 院長
はなびし けいいち
花木 啓一

当院は、鳥取県中部の中核病院として地域の急性期医療を担っています。当院では、その規模がワンチームを形成できる最大限度程度であることから、304床を擁しながらも医師を始め多職種が良好なチームワークで診療に当たっていることが特徴です。初期研修医は、指導医と膝を突き合わせ、医療スタッフと顔の見える関係を維持しながら、呼吸・循環・消化器疾患等の救急・集中医療、内視鏡や鏡視下手術を含む各種がんの診断・治療、脳血管を含む各種IVR、周産期・小児医療等の豊富な症例について深く学ぶことができます。

初期臨床研修はその後の医師人生の基盤を形成する重要な時期です。ぜひ私たちと一緒に充実した2年間を過ごしましょう。



鳥取大学医学部附属病院 病院長
たけなか あつし
武中 篤

本院は「地域と歩む高度医療の実践」の理念のもと、多種多様な職種で構成する様々なチーム医療を通して、安心安全で質の高い医療を地域に提供しています。

臨床研修や専門医研修など、多彩なプログラムで若手医師のニーズに応えるとともに、みなさんが自らの目標に向かって真摯に努力し、医療チームの一員としての協調性を備えた、成熟した社会人となるようサポートします。



山陰労災病院 院長
てしま りょうた
豊島 良太

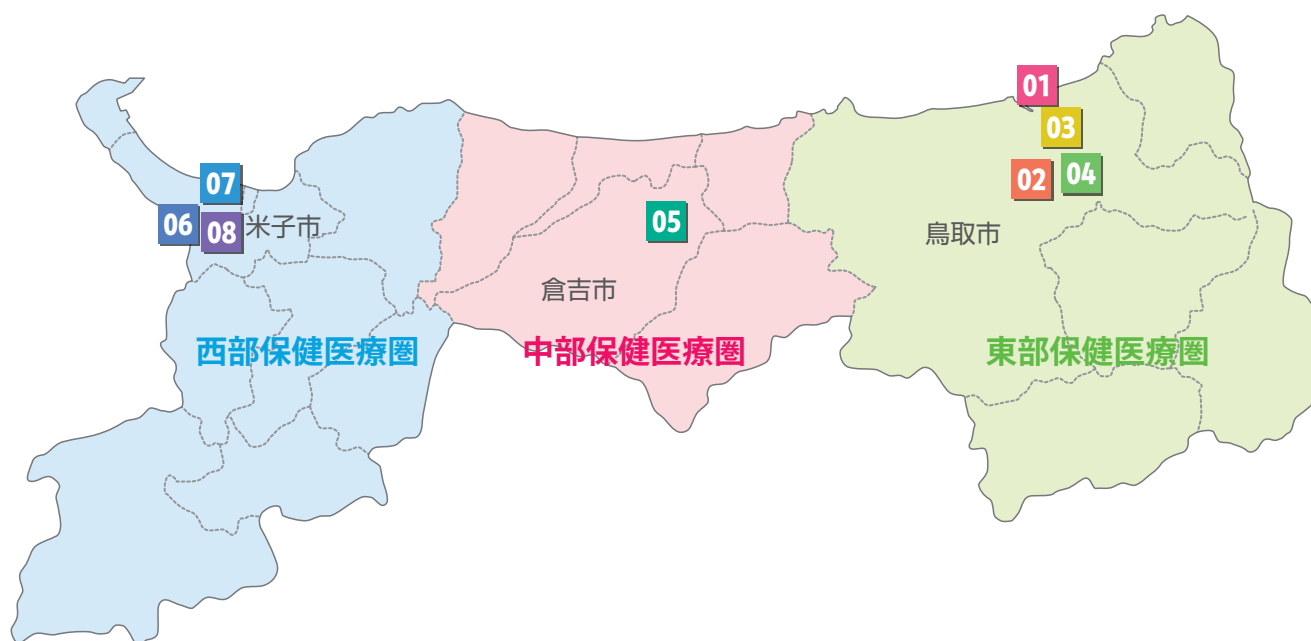
当院は、独立行政法人労働者健康安全機構労災病院グループの一員として、働く人々の健康を守る「労働者医療」を実践すると共に、地域の中核病院として急性期医療を担っています。初期臨床研修においては、制度発足以来53名が修了しており、今後も指導医とマンツーマン体制のもと、プライマリケアに十分対応できる心・技・体とも優れた臨床医を育成することを目指しています。同時に、当院ではどのような状況が起っても、指導医が研修医を受け止める体制を作っており、充実した研修が出来ると考えています。山陰の風光明媚な場所での研修を希望される研修医をお待ちしています。



米子医療センター 院長
ひさとめ いちろう
久留 一郎

米子医療センターは急性期医療を提供する病院ですので、およそ14日間で治療を行い、患者を自宅または療養型病棟へ戻すことが使命の病院です。研修医の皆さんは急性期の様々な疾患の臨床経験を積むことができます。また当院には緩和ケア病棟があり、不治の病の患者の終末期医療を経験できるのも特徴です。当院は270床の中規模な病院ですので、緊密なコミュニケーションにより、診療科の垣根を超えた柔軟な指導が受けられます。研修医と指導医と一緒に研修しながら、初期対応としての鑑別診断能力と救急を含めた治療の力を当院で是非身に付けて下さい。

鳥取県内の 臨床研修病院



もくじ

01	鳥取県立中央病院	2
02	鳥取市立病院	4
03	鳥取赤十字病院	6
04	鳥取生協病院	8
05	鳥取県立厚生病院	10
06	鳥取大学医学部附属病院	12
07	独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院	14
08	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	16

鳥取県立中央病院

〒680-0901 鳥取県鳥取市江津 730 TEL : 0857-26-2271 FAX : 0857-29-3227

医学生に向けて

当院は県立病院として鳥取県の医療に貢献する医師を育てることを使命としています。日々進歩する当院の研修を、是非一度その目で見て、その肌で体感してください。Uターン、Iターン大歓迎です!!

病院の
特徴

鳥取県地域医療構想の中で当院が果たすべき役割として、①高度急性期医療への特化、②小児・周産期医療の充実、③がん診療連携拠点病院としての機能を果たす、④災害拠点病院（基幹災害医療センター）として県民の命を守る事、が挙げられております。当院は、地域医療構想に従い、ハイブリッド手術室、PET-CT装置など高度な医療機器を備えて高度急性期医療を担っており、また、屋上ヘリポートを有し、鳥取大学医学部附属病院、豊岡病院のドクターヘリや県防災ヘリの発着を可能とし、鳥取県東部、兵庫県北部の三次救急医療を担っています。

▶ 開設 年／昭和24年

▶ 病床 数／518床

▶ 標 榜 科／39科

内科、総合内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腫瘍内科、脳神経内科、心臓内科、緩和ケア内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、精神科、放射線科、小児科、皮膚科、整形外科、外科、消化器外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器・乳腺・内分泌外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、救急集中治療科、救急外傷外科、小児救急集中治療科、災害科、救急科、臨床検査科・病理診断科、輸血科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

▶ 医 師 数／141人（令和5年4月1日現在）

▶ 指 導 医 数／72人（令和5年4月現在）

▶ 外来患者数／1日平均 812.4人（令和4年度）

入院患者数／1日平均 382.5人（令和4年度）



voice

指導医

むら お かずよし
村尾 和良

当院の初期臨床研修は自治医大卒業生の多科ローテート研修を元に、時代とともに進化してきました。鳥取県東部地区の中核病院として一次から三次救急まで様々な患者が訪れますのでたくさんの症例に出会います。指導方法も屋根瓦方式を採用し、指導医だけではなくスタッフから教えられることもたくさんあります。病院全体で若い力を育てる「共育」が浸透した当院での研修が終わるころには立派な医師になっていることでしょう。救急体制の整備などソフト面での充実も行なっています。やる気があればあるほど力がつく当院で、医師としてのスタートを切ってみませんか？

研修医

やまもと なおき
山本 直希

当院は数多くの診療科を持ち、3次救急体制が整っている鳥取県東部の中核病院の一つです。

様々な患者さんはもちろん、その家族や指導医、当院のスタッフの皆さんから多くのことを学び、医師として、一人の社会人として成長できると思います。

また多科ローテートを通して日々専門的な指導をいただく中で過ごす2年間は将来の志望科が決まっている先生にとっても、初期研修を通して志望科を決めていく先生にとっても意義のあるものになると思います。

そして僕が個人的に当院で1年間を過ごして特に良かったと思う点は、研修医の人数が多いことと研修医室があることです。研修医の人数が多く気になった症例やその日学んだ手技を共有し、共に成長出来るチャンスが多いです。またプライベートな相談や休日の息抜きもしやすく、社会人として新しい生活が始まる中でしっかりとオンオフの切り替えが出来ています。

診療科の垣根が低く、優しい先生が多く困ったことやわからないことは気軽に相談できる環境と、県内でも多くの初期研修医を抱える当院で一緒に研修してみませんか？



初期臨床研修プログラム

目 標

県の基幹病院での研修を通じ、将来の専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力(態度、技能、知識)を修得し、遭遇するいかなる状況においても思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行えるようになる。

特 徴

当院は高度・急性期医療の総合病院で、鳥取県東部医療圏(二次医療圏)の基幹病院です。救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院などの指定を受けており、二次、三次救急を主体とした急性期患者の受け入れや、地域連携により紹介された一般疾患から特殊疾患に至るまで、多様で豊富な症例を経験できます。

多様な研修医が在籍し、それぞれのキャリアプランに合わせて設定できるよう、2年次の選択科目の期間を省令の許す最大期間としています。研修修了後の進路も多様で多くの修了者が鳥取県の医療に貢献しています。

年間研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一 年 次	オリエン テーション	内 科					救急部門		外科	小児科	産婦人科	選択
二 年 次	地域医療	精神科	選 択									

内科は一般内科16週、心臓内科4週、脳神経内科4週

救急部門は救急科4週、麻酔科4週に加え救急外来日当直研修を通年で行う

一般外来研修は内科、小児科、地域医療時に並行研修で行う

日当直回数

3回/月程度

担当医師等:医師4名、研修医2名、看護師3名、

臨床検査技師1名、放射線技師1

名、薬剤師1名、臨床工学技師1名

当 直 時 間:通常業務8時30分～17時15分の後、

17時15分～翌8時30分に当直業務

募集要項

- ▶ 採用予定人数/12人
(自治医科大学卒業予定者2人含む)
- ▶ 応募資格/令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者
- ▶ 試験日等/令和5年8月25日(金)・8月30日(水)
web試験で実施
- ▶ 申込締切/各試験日の1週間前(必着)
- ▶ 応募連絡先/鳥取県立中央病院総務課
〒680-0901 鳥取県鳥取市江津730
担当/人事企画担当
TEL/0857-26-2271
FAX/0857-29-3227
E-mail/chuoubyouin@pref.tottori.lg.jp

待 遇

- ▶ 給与等/約45万円(手当含む)
- ▶ 休 暇/週休2日制、有給休暇(年10日)、夏季休暇(年3日)
- ▶ 宿 舎/有(研修医用公舎(16戸)、借り上げ宿舎 月額負担22,000円程度)
- ▶ 保 険/健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険



鳥取市立病院

〒680-8501 鳥取県鳥取市市場一丁目1番地 TEL：0857-37-1522 FAX：0857-37-1553

医学生に向けて

当院の理念は、1. 信頼される病院 2. 心温まる病院 3. 楽しく働ける病院 です。
共に地域を支えていく医療人として、新生活の第一歩を当院で踏み出す仲間を募集しています。
ご応募お待ちしております。

病院の
特徴

- ・鳥取県東部医療圏における中核的病院として、急性期は二次救急医療を中心に、回復期、在宅までの医療を担っています。
- ・緩和ケアチーム、NST、褥瘡チームなどによるチーム医療を行っています。
- ・地域包括ケア病棟を開設し多職種専門チームが介入することにより急性期から回復期、さらに在宅医療、訪問医療も含めた切れ目のない医療により地域と密接に連携しています。
- ・充実した総合診療スタッフにより、高齢者医療に積極的に対応し在宅療養後方支援病院として地域と密接に連携しています。

▶ 開設 年／昭和21年

▶ 病床 数／340床

▶ 標 榜 科／23科

内科、神経内科、精神科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科

▶ 医 師 数／50人(令和5年4月1日現在)

▶ 指 導 医 数／26人(令和5年4月1日現在)

▶ 外来患者数／1日平均410.1人(令和4年度)

▶ 入院患者数／1日平均234.0人(令和4年度)



voice

指導医

かけひ えいいち
懸樋 英一

当院では急性期のみならず、回復期も含めたプライマリ・ケア研修に興味のある研修医を求めています。救急告示病院の指定を受けており、初期対応から治療までの過程を経験することができます。また、地域包括ケア病棟では生活支援の取り組みも経験できます。

各科ローテーション時には、指導医と研修目標のすり合わせを行い、形成評価を設け、目標を達成できるよう支援をしていきます。

当院では、少子高齢化社会に対応のできる人財育成を目標にしています。院内外の教育資源を活用し、卒後3年目以降の独り立ちを支援していきたいと考えています。

研修医

こやま けいた
湖山 恵多

学生の皆さんの中には、将来医師として現場で働くことに不安を覚えている方がいらっしゃると思います。当院は、医局の先生方と研修医の距離が近く、生じた疑問をすぐに解決できる環境があります。研修医の数は少ないですが、その分、先生方をはじめとする職員の皆さんが研修医のことを把握して、いつでも気にかけてくださいます。

また、「PBL(問題解決型学習)型の勉強会」と「モーニングレクチャー」がそれぞれ週に1回行われており、継続的な学習機会があります。PBL型の勉強会では、研修医が実際に経験し、学びを得た症例を提示し、指導医の先生を含めた皆でその症例について議論することで、臨床への対応能力を高めています。モーニングレクチャーでは、講義形式で各診療科の先生や他医療職種の方々が多様なテーマで解説をさせていただきます。

当院は指導熱心な先生が多いです。ぜひ見学にいらして、この雰囲気を感じていただけたらと思います。



初期臨床研修プログラム

目 標

- ・医師としての基盤を身につけることを目的とし、2年間の初期臨床研修を通じて、
- ・診療に必要な幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を習得する。
- ・地域に密着した良質な医療を学び、医師に求められる責任感・使命感を養う。

特 徴

当院は、鳥取県東部を医療圏とする地域に密着し、主に二次救急医療に重点をおいた医療活動を行う総合病院です。1年目の研修は主に麻酔科(救急部門)、総合診療科(内科研修)から始まり、内科、外科等の必修科研修を行い、2年目に地域医療研修を智頭病院、岩美病院、佐治診療所で4週間行います。必修科の期間以外は全て自由選択期間としています。鳥取大学医学部附属病院、岡山大学病院をはじめとする協力病院、協力施設で将来専門としたい診療科を自由に選択でき、幅広く自分の将来に役立てる研修が可能です。

また救急部門として三次救急指定病院の岡山大学病院救命救急科において8週間の研修を選択することもできます。

年間研修計画

(例)

1年次	診療入門 内科 (総合診療) (4週)	救急部門 麻酔科 (4週)	内 科 (総合診療、血液、消化器、 腎・代謝・内分泌・循環器等) (20週)	外科 (4週)	小児科 (4週)	精神科 (4週)	産婦人科 (4週)	選択科 (8週)
	救急部門							
2年次	地域医療 (4週)	選択科 (48週)						
	救急部門							

※上記ローテーション順は一例です。各科の順番は相談・調整の上決定します。

※研修医1年目の4月に社会人としての基本的スキルを学ぶため約10日間オリエンテーションを実施します。

※一般外来研修:内科、小児科および地域医療研修中の並行研修により実施します。

※選択科目は協力病院でも研修可能です。



日当直回数

約4回/月

担当医師等:医師2名

(一般当直、重症対应当直)、研修医1~2名、看護師3名、

臨床検査技師1名、放射線技師1名、薬剤師1名等

日直時間:8時30分~17時

当直時間:17時~翌8時30分

翌日勤務:当直日翌日の勤務時間は、8時30分~12時

募集要項

待 遇

- ▶ 基本給/1年次 月額 358,000円
2年次 月額 370,000円
- ▶ 賞 与/1年次 年額1,026,000円
2年次 年額1,632,000円
- ▶ 手 当/通勤手当、時間外手当、宿日直手当、住居手当、扶養手当、赴任手当(着任時引越料)
- ▶ 休 暇/週休2日制、有給休暇(1年目15日、2年目20日)、夏季休暇(3日)
- ▶ 宿 舎/有(医師公舎34戸)月額4万円程度
- ▶ 保 険/健康保険、厚生年金、公務災害、医師賠償責任保険

採用予定人数/5名

▶ 応募資格/令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者、または、既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。

▶ 試験日等/令和5年7月上旬~9月下旬 随時

▶ 申込締切/令和5年9月22日(金)

▶ 応募連絡先/鳥取市立病院 教育研修センター

〒680-8501 鳥取県鳥取市橘の場一丁目1番地

担当:教育研修センター 武田 浩平

TEL:0857-37-1522 FAX:0857-37-1553

E-mail:ken_dr@hospital.tottori.tottori.jp

鳥取赤十字病院

〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町 117 番地 TEL : 0857-24-8111 FAX : 0857-22-7903

医学生に向けて

鳥取赤十字病院では、私たち研修医が手技や業務で失敗しても、何度も機会を得られる丁寧な指導が魅力の一つだと思います。たとえ、十字路が眼の前に広がっていても一本の筋道を照らしてくれる…それが鳥取赤十字病院です！一緒に医学への道を歩んでいきましょう！

病院の
特徴

当院は全国に91ある赤十字病院の一つで、開設以来108年の歴史をもつ地域の中核病院です。地域医療支援病院、災害拠点病院として、患者さんに安心・安全・快適な医療を提供しています。急性期医療を中心とした病院であり、特に上部・下部消化管の内視鏡件数は山陰トップクラスです。また、数多くのOB開業医とのつながりを大切に病診連携にも力を入れており、鳥取県東部地区の地域医療支援病院として地域医療の一翼を担っています。その他、災害活動も重視し、日本赤十字社としての救護班のほかに、災害派遣医療チーム (DMAT) を編成しています。

▶ 開設 年／大正4年

▶ 病床 数／350床

▶ 標 榜 科／24科

内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、精神科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、眼科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、形成外科

▶ 医 師 数／55人(令和4年4月1日現在)

▶ 指 導 医 数／35人(令和4年4月1日現在)

▶ 外来患者数／1日平均 512.9人(令和4年度)

▶ 入院患者数／1日平均 276.4人(令和4年度)



voice

指導医

やましろ
山代 豊

ここ数年当院へは多くの初期研修の希望があり、安定してFull Matchを達成しています。定員6名ですが、徐々に屋根瓦式指導の体制構築も進みつつあるところです。当院の初期研修の特徴としては、急性期疾患を中心に数多くの症例や手技を経験できることで

す。特に救急研修修了後は当番で日勤帯の救急トリアージを受け持ち、救急搬送患者の初療等に主体的に加わって頂いています。2年の研修が終わるころには一人で当直できる医師に育っていると感じています。また赤十字を含む他病院・診療所での選択研修も好評を得ています。特に県外での研修が初期研修中に出来るのは、刺激的で貴重な経験になるのではないのでしょうか。この他に赤十字の災害救護訓練への参加や、実災害への救護班出動に帯同して頂いた実績もあります。熱心な指導医のみならず職員全員がチーム医療を通じて研修医の皆さんを見守り育てようという雰囲気根付いています。働き方改革に関しては前倒しで取り組み、研修医の就労環境の整備にも心がけています。当院の研修を通じて赤十字の理念である『人道』の心を持って患者さんに寄り添い、一人ひとりの患者さんから学ぶ姿勢を持つ医師に育ってほしいと願いつつ指導を行っています。

研修医

(手前右から時計回りに)



おおかわ	ちはる
大川	千春
しばた	ゆり
柴田	友理
いなむら	こころ
稲村	呼子
おかだ	はやと
岡田	捷豊
たにもと	けいたろう
谷本恵太郎	
たなか	ゆうき
田中	雄貴

当院の救急外来では初期研修医にファーストタッチを任される機会が多く回ってきます。勿論最初のうちは右往左往してしましますが、各診療科の指導医やメディカルスタッフの皆様に支えられ、臨床判断、手技、プライマリケアなど様々な能力が日々身につく成長できる環境が整っております。病院の立地・設備・待遇・福利厚生などもバランスよく充実しております。ぜひ一度病院見学にいらしてください！そして私たちと一緒に研修しましょう！



初期臨床研修プログラム

目 標

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、適切な指導体制の下で、プライマリ・ケアを中心に幅広く医師として必要な診療能力を身につけ、人格をかん養し、医療の基本である医療安全や患者の権利、プライバシーへの配慮を確実に身につけた医師の育成を目指す。

特 徴

指導医の監督の下、数多くのcommon diseaseを経験することが出来るだけでなく、救急医療の研修では二次救急疾患患者が多く、2年間でほとんどの救急疾患に対応できるようになる。また、消化管内視鏡などの検査手技を指導医の監督の下直接経験できる機会が多いので、2年次終了時には様々な検査や治療手技を単独で行えるレベルまで到達できる。さらに、自由選択期間が約11ヶ月と長く、将来のキャリアプランに見合ったプログラムを行うことができる。

年間研修計画

(例)

一年次	テオリシエン	内科 24週	救急部門 12週	外科 4週	小児科 4週	産婦人科 4週
二年次	精神科 4週	地域医療 4週	自由選択			

※一般外来での研修(内科・地域医療) 4週含む



日当直回数

4回程度/月

日 直 時 間: 8時30分~17時10分

当 直 時 間: 通常業務8時30分~17時10分の後、17時10分~翌8時30分に当直業務



待 遇

- ▶ 基本給/1年次 月額(税込) 300,000円
2年次 月額(税込) 350,000円
- ▶ 賞 与/1年次 年額(税込) 800,000円
2年次 年額(税込) 1,200,000円
※退職時慰労金支給
- ▶ 手 当/夜勤手当、時間外手当、住宅手当
- ▶ 休 暇/土日祝日、年末年始、創立記念日、有給休暇
- ▶ 宿 舎/宿舍病院契約にて契約時の敷金・礼金の全額支給・住宅手当支給
- ▶ 保 険/労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金保険、病院賠償責任保険(病院加入)

募集要項

- ▶ 採用予定人数/6人
- ▶ 応募資格/令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者、または、既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。
- ▶ 試験日等/令和5年8月下旬予定
締め切り 試験日1週間前
詳細はホームページをご覧ください。
※指定面接日に受験困難な場合は、別途日程を調整しますので、直接お問合せください。
- ▶ 応募連絡先/鳥取赤十字病院 総務課
〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町117番地
担当:総務課 長谷川 亜希
TEL:0857-24-8111 FAX:0857-22-7903
E-mail:kyouiku@tottori-med.jrc.or.jp

鳥取県立厚生病院

〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町 150

TEL : 0858-22-8181 FAX : 0858-22-1350

医学生に向けて

1) 毎日楽しく! 2) 医師としての自信がついた! 3) 将来の専門コースを描けた!
 と思ってもらえる研修指導が当院のモットーです。

病院の
特徴

1. 鳥取県中部全地域と岡山県北部の一部の急性期・救急医療の中核を担っています。
2. 小児・周産期医療の中核を担っています。
3. 循環器疾患、脳血管障害の急性期治療を行っています。
4. がん診療連携拠点病院として集学的がん治療を行っています。
5. 地域医療支援病院として地域医療機関との濃厚な医療連携を展開しています。
6. 多職種垣根のないチーム医療を展開しています。

▶ 開設 年／昭和38年

▶ 病 床 数／304床(一般300、感染症4床)

▶ 標 榜 科／21科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、
 外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、
 精神科、小児科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう
 科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、病理診断
 科、麻酔科

▶ 医 師 数／53人(令和5年4月1日現在)

▶ 指 導 医 数／31人(令和5年4月1日現在)

▶ 外来患者数／1日平均 552人(令和4年度)

▶ 入院患者数／1日平均 214人(令和4年度)

鳥取県立厚生病院では、
臨床研修医
 を歓迎します!



voice

指導医

はしだ ゆういちろう
橋田 祐一郎



当院は、県中部の中核病院であり、一次から三次まで幅広い疾患の患者さんを経験できます。小児・周産期領域においては、県中部唯一の入院施設であり、周辺地域の子供たちのほとんどを当院で管理します。また、多職種との連携も積極的に実施し、急性期から慢性期、退院後の在宅医療や地域医療も見据えた、患者さんにとってより理想の医療を日々追求しております。

希望、やる気に満ち溢れた研修医の皆様にとって、医療のリアルワールドに身を置くことは、より実践的で合理的な医療の学びを可能とすると信じております。お待ちしております。

研修医

よしだ ゆかこ
吉田祐賀子



当院は県中部最大の病院であり、夜間や休日の救急患者の多くが当院を受診します。急性上気道炎などのcommon diseaseを多く経験することができる他、心筋梗塞や大動脈解離などの重症症例を経験する機会もあります。

救急外来の初期対応は指導医と研修医の2人で行います。ファーストタッチでは自分なりに所見をとって鑑別診断を考え、指導医の先生からフィードバックをもらうことができます。実際に経験してみないとわからないことも多いので、大変良い勉強になっています。

また、当院は職員の人数が少なく、医師や看護師など病院職員の顔と名前を覚えやすいため、アットホームな温かい雰囲気です研修をおこなうことができます。ぜひ見学に来てみてください。



初期臨床研修プログラム

目 標

患者－医師関係、チーム医療、問題対応能力、安全管理、症例呈示、医療の社会性に関する行動目標と経験目標を設定します。

医学、医療の社会的ニーズを認識しつつ日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身に付けることを研修理念としています。

特 徴

- 幅広い疾患と豊富な症例数を経験できます。
小児から高齢者まで多岐にわたる疾患症例を診る機会に接します。初期研修での実経験は将来の宝となります。
- 各研修医のオーダーメイドプログラムを作成します。
3年目以降の将来設計を考えている研修医に有意義なプログラムを作成していきます。
- 多数の指導医に守られています。
各年代層の指導医がいます。直接指導を仰ぐ他、診療科垣根を超え近くの指導医に気軽に知識、技術を教えてもらえるような雰囲気があります。

年間研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	内科(24週)						救急・麻酔科(12週) (麻酔科4週)			外科 (4週～12週)		一般外来 (4週)
二年次	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	自由選択科目(36週)							

上記を基本にプログラムローテーションは相談の上決めます。2年次ローテーションを1年次に前倒しで行う場合もあります。

協力病院、協力施設

精神科→鳥取大学医学部附属病院、倉吉病院

地域医療→藤井政雄記念病院、三朝温泉病院、倉吉保健所、米子保健所

各診療科→鳥取大学医学部附属病院、野島病院

日当直回数

4回程度/月

指導医が付きます

(深夜0時～午前8時30分までの当直はありません)

待 遇

- ▶ 基本給/1年次 約40万/月(手当込)
2年次 約50万/月(手当込)
- ▶ 手 当/通勤手当、時間外手当、休日手当、宿日直手当、期末手当等
- ▶ 休 暇/週休2日制、有給休暇1年次10日、2年次11日 別に夏季休暇有り
- ▶ 宿 舎/有 21,500円/月
駐車場 1,000円/月
- ▶ 保 険/健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

募集要項

- ▶ 採用予定人数/5人
- ▶ 応募資格/令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者、または既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。
- ▶ 応募書類/願書(履歴書)、卒業(見込み)証明書、成績証明書
- ▶ 応募期間/令和4年9月30日まで
- ▶ 選考方法/面接及び書類審査
- ▶ 応募連絡先/鳥取県立厚生病院
〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町150
臨床研修・教育センター 木下 留美
TEL:0858-22-8181 FAX:0858-22-1350
E-mail/kouseikensyu@pref.tottori.lg.jp
※応募者には別途、個別に連絡します。



鳥取生協病院

〒680-0833 鳥取県鳥取市末広温泉町 458 TEL : 0857-24-7251 FAX : 0857-26-1393

医学生に向けて

鳥取生協病院では急性期・リハビリ・地域医療、心のケアを必要とする方や生活に困っている方への診療など幅広い医療活動を行っています。病気だけでなく、患者さんの生活や社会的背景まで診る総合的な診療技術を一緒に身につけましょう！

病院の
特徴

『無差別・平等の医療』を目指して

地域住民の願いを受けて、鳥取医療生協が1951年に設立、1958年に鳥取生協病院を開院しました。「無差別・平等の医療」を目指し、無料低額診療事業の実施や差額ベッド代を頂かないなどの取り組みで、社会的弱者の最後の砦としての役割も果たしています。

多様な働き方をサポート

当院は安心して働き続けられる職場環境が整っており、産前・産後休暇、育児休業、時短勤務などを取得しやすいサポート体制が充実しています。病児保育室や院内保育所も完備し、無理のない勤務体制で患者さんとしっかり向き合うことを重視しています。

▶ 開設 年／昭和33年

▶ 病床 数／260床

▶ 標 榜 科／14科

内科、精神科（心療科）、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、リウマチ科、アレルギー科

▶ 医 師 数／27人（令和5年4月1日現在）

▶ 指導医数／20人（令和5年4月1日現在）

▶ 外来患者数／1日平均 208.5人（令和4年度）

▶ 入院患者数／1日平均 195.6人（令和4年度）



voice

指導医

もり た てる み
森田 照美

当院では急性期から回復期、緩和ケア、往診など、幅広い症例を経験することができます。また県内外に多数の協力病院があり、研修医それぞれ

の希望に沿ってプログラムを適宜調整しています。

初期臨床研修制度ができる以前から各科ローテーション研修、他職種からの評価等を行っており、歴史的に病院全体で研修医を育てよう！という土壌があります。疾患だけでなく、患者様の社会的背景まで考え診療する姿勢を学ぶことができます。皆様をお待ちしています！！

研修医

な む ら きょういちろう
苗村 匡一朗

鳥取生協病院では急性期だけでなく、リハビリ、緩和ケアにも力を入れており、疾患のみならず社会的背景を含めた患者さんの実態を診て、サポートしていくという流れを学ぶことができます。また、単一医局です

でローテーションに関わらず他科の先生に声をかけやすいですし、診たい症例、やりたい手技等を言っておけば他科の先生でも声をかけていただけます。研修医の数もそれほど多くないため症例や手技の取り合いになることも少ないと思います。

すぐ近くに系列の他の診療所があり、そこでは訪問診療について学ぶことができます。他職種の方に指導していただく機会もあり、勉強になると思います。当直は自身の希望に合わせて回数を決められますし、その月のdutyを考慮していただけるのも良い点かと思います。また、鳥取県内外の協力病院での研修も可能であり、より幅広い経験を積むことができます。

鳥取の地域医療に興味がある方も、鳥取だけでなく幅広く他県の医療あるいは他施設での医療を学びたいという方にもお勧めできる研修だと思います。職場の雰囲気が良いところも利点だと思いますので、まずは見学に来てみてください。



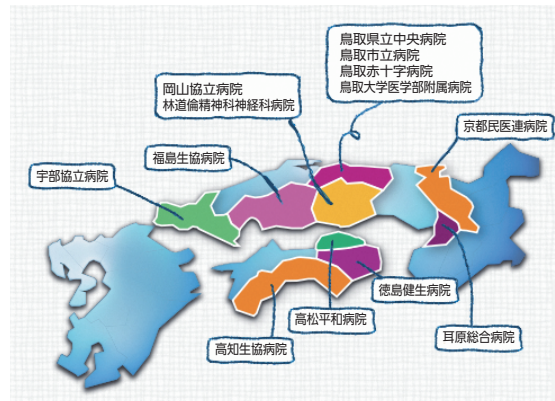
初期臨床研修プログラム

目 標

1. 日常診療で必要とされる基本的な診療能力(態度、技能、知識、総合的判断能力)を身につけます。
2. 医療と社会の結びつきを理解し、すべての患者・住民に寄り添い人権を守る、無差別・平等の医療を行う素養を身につけます。
3. あらゆる診療場面で患者の安全を念頭に置き、医療倫理と照らし合わせながら、一人ひとりの患者の問題を多職種と共同してチームで解決する視点を身につけます。

特 徴

基幹型臨床研修病院として、鳥取県内外の協力病院・協力施設と連携した研修プログラムを実施しています。研修医の要望や達成度に合わせてカスタマイズ可能な研修プログラムであるため、病棟研修だけでなく在宅医療や診療所を含む幅広いフィールドで研修を行うことで、豊富な common disease 症例を経験することができます。



鳥取県内外の研修協力病院(一例)

年間研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一年次	導入研修	内 科						外 科		救 急		
	鳥取生協病院											
二年次	精神科	産婦人科	小児科	地域医療			内 科	脳神経外科	リハビリ科	整形外科	緩和ケア科	
	鳥取生協病院	協力病院		協力施設			鳥取生協病院					

上記を基本にプログラムローテーションは相談の上決定します。



日当直回数

0~4回程度/月

※研修医と相談の上決定。

担当医師等: 医師1名、研修医1名、看護師および准看護師2名、臨床検査技師1名、放射線技師1名

当 直 時 間: 17時~翌8時30分に当直業務(1年目は24時まで ※研修の到達状況による)

翌 日 勤 務: 当直日翌日の勤務時間は、8時30分~12時30分

待 遇

- ▶ 基本給/1年次 月額(税込) 431,000円
2年次 月額(税込) 470,900円
- ▶ 賞 与/1年次 年額(税込) 956,600円
2年次 年額(税込) 1,118,140円
※賞与は労使交渉によって毎年変動する。
- ▶ 手 当/通勤手当、時間外手当、休日手当、住宅手当、宿日直手当
※赴任時の敷金・礼金支給。引っ越し費用支給(上限あり)
- ▶ 休 暇/年次有給休暇(1年次:10日、2年次11日)、夏季休暇(3日)、年末年始休暇(5日)、その他休暇(4週6休、4週7休、4週8休の月がある)※令和5年4月1日時点
- ▶ 宿 舎/無(住宅手当:32,500円)
- ▶ 保 険/健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険

募集要項

- ▶ 採用予定人数/4人
- ▶ 応募資格/令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者、または、既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。
- ▶ 試験日等/6月1日~10月上旬で随時
- ▶ 応募連絡先/鳥取生協病院
〒680-0833 鳥取県鳥取市末広温泉町458
担当:医局事務課 是枝 清一
TEL:0857-24-7251 FAX:0857-26-1393
E-mail:kensyu@med-seikyo.or.jp

鳥取大学医学部附属病院

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1 TEL : 0859-38-7025 FAX : 0859-38-6974

医学生に向けて

本院は、「地域とつながる」大学病院・特定機能病院です。

高度先進医療を知り、地域を支える標準的な医療を提供できる医師になるための第一歩を本院で踏み出しませんか？多種多様なキャリアプランも提案します。

病院の
特徴

鳥取大学医学部附属病院は70年以上に渡り、地域の病院として、また山陰地方の医療の最後の砦として一般的な疾患のみならず重症疾患や難病など多岐に渡る疾患の診断と治療を行っています。また同時に、将来の山陰地方の医療を支える若い医師を育て送り出しています。指導医をはじめとする本院の医師やメディカルスタッフは、診療だけでなく教育への意識も高く、チームでの研修医や若いメディカルスタッフの育成に力を入れています。救急も1次から3次まで、ドクターカーやドクターヘリを駆使して受入れています。

▶ 開設 年／昭和26年

▶ 病床 数／697床

▶ 標 榜 科／39科

内分泌代謝内科、内科、薬物療法内科、血液内科、消化器外科、救急科、精神科、小児科、脳神経小児科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科、感染症内科、ペインクリニック外科、頭頸部外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、脳神経内科、呼吸器内科、膠原病内科、アレルギー科、消化器内科、腎臓内科、循環器内科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺内分泌外科、小児外科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、腫瘍内科

▶ 医 師 数／421人(令和5年4月1日現在)

▶ 指 導 医 数／203人(令和5年4月1日現在)

▶ 外来患者数／1日平均 1,594.5人(令和4年度)

▶ 入院患者数／1日平均 552.5人(令和4年度)



voice

指導医

はな き たけひと
花木 武彦

と思っています。

い ためきた
「医ノ為来レ」

鳥取大学医学部附属病院で、研修医として成長してみませんか。私たちは、皆さんの熱意に応え、最高の環境で研修に取り組んでいただけるよう、全力で支援します。研修を終えた先生方が素晴らしい医師として活躍する日を楽しみにしています。

研修医

ふじの ゆうだい
藤野 雄大

当院では自由度の高い様々な研修プログラムが設けられており、研修する病院と診療科を自由に組み合わせることができる点が大きな魅力の一つと考えてい

ます。私は山陰たすきがけプログラムを選択し1年目を市中病院で研修させて頂くことで数多くの症例を経験することができました。また今年度からは当院での研修が始まり、より専門性の高い症例に対応する機会が増え充実した日々を送っています。既に志望科が決まっている方はもちろんの事、そうでない方にも自身の可能性を探る上できっと自分に合うプログラムが見つかるのではないかと思います。研修医一同、心よりお待ちしております。



初期臨床研修プログラム

目 標

- 将来、社会が求める最適な医療を、安全に配慮して提供できる優れた医療人となるために、
1. 医師としての基本的価値観(社会的使命、利他的態度、思いやり、自己向上心)を身につける。
 2. 医学や医療に関する倫理原則を理解し行動する。
 3. 日常診療で頻繁に遭遇する病態・疾患に対応できる基本的な診療能力を身につける。
 4. 常に最新の医学知識の獲得に努めるとともに、科学的探究心を持ち、地域社会や国際社会、公衆衛生への貢献をめざす。
 5. 他の医師や医療者と共に医療を行い、学び、互いに敬意をはらう姿勢を身につける。

特 徴

特徴的な8つのプログラムと基幹型病院として提供する多彩な診療科研修により、研修医の希望と将来の進路に沿った、充実したローテーション研修を行う。指導医・上級医から屋根瓦式にマンツーマン指導を受けられる。

大学病院として多数の専門研修プログラムを運用しており、臨床研修からの段階を追った研修が可能である。チーム医療も充実している。

年間研修計画

※プログラムは合計8つあります(定員合計43名)。詳細は下記担当までお問い合わせください。

自由選択プログラム(研修例) 募集定員14名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	テオリシエン		必修(内科24.4週)						必修 (救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)				鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週				選択科39週						鳥大病院 協力型病院

外科専門プログラム 募集定員4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	テオリシエン	外科22週					必修外科4.4週	必修(内科24.4週)					鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(救急科13.2週、地域医療4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)								必修一般外来研修4週	選択科4.4週	外科12.8週		鳥大病院 協力型病院

関西たすきがけプログラム 募集定員5名

山陰たすきがけプログラム 募集定員12名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	テオリシエン		必修(内科24.4週)						必修 (救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)				鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週				選択科39週						鳥大病院 協力型病院



日当直回数 宿直3回、日直1回程度

担当医師等: 常時医師10名(自宅待機除く)、研修医2名、看護師・准看護師60名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、放射線技師1名等

当直時間: 宿直17時～翌8時30分(月4回まで)

日直8時30分～17時(休日のみ、月1回まで)

翌日勤務: 当直日翌日の勤務は通常通り(体調・疲労具合により相談)

待遇

- ▶ 基本給/ 1年次 年俸制(税込)約384万円
2年次 年俸制(税込)約402万円
- ▶ 賞与/ なし
- ▶ 手当/ 超過勤務手当、宿日直手当、特殊勤務手当(救急科)、通勤手当
- ▶ 休暇/ 週休2日制、有給休暇(年15日)、リフレッシュ休暇(年6日)、特別休暇
- ▶ 宿舍/ 有(借り上げ宿舍、徒歩8分、月額負担25,000円+管理料3,000円)
- ▶ 保険/ 文部科学省共済組合保険、雇用保険、労災保険

募集要項

- ▶ 採用予定人数/ 43人(8プログラムの合計)
- ▶ 応募資格/ 令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者、または、既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。
- ▶ 試験日等/ 第1回: 令和5年8月22日(火)
第2回: 令和5年9月13日(水)
第3回: 令和5年9月29日(金)
- ▶ 申込締切/ 各試験日の一週間前(必着)
- ▶ 応募連絡先/ 〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
鳥取大学医学部附属病院卒後臨床研修センター
初期臨床研修部門担当 市川 ゆり
TEL/0859-38-7025 FAX/0859-38-6974
E-mail/jimsotsugo@ml.adm.tottori-u.ac.jp

独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1-8-1 TEL：0859-33-8181 FAX：0859-22-9651

医学生に向けて

当院は全科揃っていることもあり、救急で必要な知識・基本的手技を身につけることはもちろん急性期から慢性期疾患まで幅広い症例をたくさん経験することができます。
日当直も自分のペースで組むことができ、自由度が大きい研修プログラムが自慢です。

病院の 特徴

当院は、地域の医療・介護・福祉施設と連携し地域医療を支援する、24診療科を持つ総合病院です。鳥取県西部の中核を担う二次救急病院であり、時間外救急外来患者数は年間約4,200例、疾患別には脳卒中、急性心筋梗塞など、鳥取県西部の他の二次救急病院では受け入れ困難な症例をも受け入れており、地域医療に大きく貢献しています。その他、当院は勤労者医療を担い、働く人の健康維持と治療と就労の両立支援を実施しています。研修においては、消化器、腎代謝、呼吸器、循環器、中枢神経、骨関節、脳卒中、心筋梗塞、がん、小児・周産期医療等に対し豊富な診療科のもと、垣根のない指導医による充実した研修が可能な臨床研修病院です。

▶ 開設 年／昭和38年

▶ 病床 数／377床

▶ 標 榜 科／24科

内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器・感染症内科、腎臓内科、精神科（心療科）、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科

▶ 医 師 数／78人（令和5年4月1日現在）

▶ 指 導 医 数／54人（令和5年4月1日現在）

▶ 外来患者数／1日平均 587.3人（令和4年度）

▶ 入院患者数／1日平均 273.1人（令和4年度）



voice

指導医

みずた えいの すけ
水田 栄之助

当院は鳥取県西部を代表する二次救急病院ということもあり、重篤な疾患や合併症に対する実践的な研修を受けることができます。

様々な手技体験と、麻酔科研修では挿管やライン確保、放射線科研修では読影を学ぶことができます。

「病気を診ずして病人を診よ」の言葉の通り、是非、当院で一人の患者様を総合的に診るトレーニングをしていただきたいと思います。

研修医

い せき ひろまさ
井関 大勝

当院での初期研修における強みは、診療科が揃っていること、自由選択期間が約1年と長いことだと思います。現時点で将来の志望科が決まっていない方は、

沢山の科を選択ローテートし、進路を吟味していくことができます。また心に決めた科があるならば、その科をがつつり研修して専門性を深めていくもよし、関係のある科を選択してgeneralな学びを深めるのもよしです。これだけ多様な経験ができるのは初期研修のうちだけです。ぜひ当院の特徴的なプログラムを生かして有意義な研修をしましょう。



初期臨床研修プログラム

目 標

医師としての基盤形成の段階にある研修医において、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力の修得。

特 徴

研修医は臨床研修センターに所属し、本院を「基幹型病院」そして教育関連病院を「協力型病院」並びに「臨床研修協力施設」とする臨床研修病院群を形成した中で研修を行います。研修は、ローテート研修を基本原則とし、内科研修については、各内科診療科の複数科での研修を行い、外科研修についても、一般外科のみならず、整形外科、脳神経外科などの知識の習得も可能となっています。また、医師臨床研修の大きな目標であるcommon diseaseを経験してトリアージができるよう当院では救急部門の研修を重視しており、日勤帯にも多種多様な二次救急患者が多く訪れるという当院の特徴を生かし、2年間を通して土日、祝日の日勤帯のみをdutyとした救急外来研修を行います。これにより、夜間の当直を気にせず、夕方からは自分の勉強時間を取ることが可能となります。指導医と各科バックアップ体制のもとに、軽症からACLSへの対応まで、幅広い研修を効率的に行うことができます。2年目は研修医の希望による選択科目を最大52.8週設定でき、関連5病院において自由に設定することも可能です。最後に「まとめ期間」を設定しており、経験目標が達成されていない項目があればこの期間に補うことができます。その他、症例報告などの学会報告を奨励しており、指導医や専門医がその指導に当たります。また、ポートフォリオによる評価法を取り入れ、月毎に形成的評価やメンタルサポートができるよう配慮しています。

年間研修計画

一年次	プレローテーション 救急麻酔 (4.4週)		内 科(26.4週) (消化器、循環器内科、呼吸器・感染症、 腎臓、糖代謝、脳神経内科)			外科 (4.4週)	小児科 (4.4週)	産婦人科 (4.4週)	精神科 (4.4週)	選択 (4.4週)
			救 急 部 門							
二年次	地域医療 (4.4週)	選 択 (まとめ期間含め48.4週)								まとめ期間
		救 急 部 門								

※1年次スタート時にプレローテーション(1週間)を行います。

日当直回数

1~2回/月程度

担当医師等：日直医/2名(内科、外科系)、宿直医/1名(内科又は外科系)、看護師2名、臨床検査技師1名、放射線技師1名等、研修医/1名(指導医のもとで日直のみ。全診療科オンコール体制)

当 直 時 間：土日、祝日の日勤帯 8時15分~17時

翌 日 勤 務：当直後、休養のための休暇の取得可

待 遇

募集要項



- ▶ 給与等／1年次 月額(税込)353,000円
(賞与、各手当を含む見込額：年収約570万円)
2年次 月額(税込)420,000円
(賞与、各手当を含む見込額：年収約660万円)
- ▶ 賞 与／1年目 年額(税込)約124,500円
2年目 年額(税込)約166,000円
- ▶ 手 当／通勤手当、超過勤務手当、当直手当、アパート等賃貸への補助有、学会参加等の補助有
- ▶ 休 暇／週休2日制、有給休暇(半年後年10日)、夏季休暇(年5日)
- ▶ 宿 舎／有(徒歩5分、月額負担5,000円)
- ▶ 保 険／組合健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、医師賠償保険は病院で加入

- ▶ 採用予定人数／5人
- ▶ 応募資格／令和6年医師国家試験受験予定者及び令和5年医師国家試験合格者
- ▶ 試験日等／令和5年8月16日~9月初旬(面接希望日に沿って調整いたします)
- ▶ 申込締切／令和5年8月10日
- ▶ 応募連絡先／山陰労災病院 医師臨床研修センター
〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田1-8-1
担 当／医師臨床研修センター事務担当
TEL/0859-33-8181 FAX/0859-22-9651
E-mail:soumu11@saninh.johas.go.jp
※応募書類は、病院に直接持参又は簡易書留にて郵送願います。

独立行政法人国立病院機構 米子医療センター

〒683-0006 鳥取県米子市車尾4-17-1 TEL：0859-33-7111 FAX：0859-34-1580

医学生に向けて

当院は急性期病院ですので、幅広い疾患に向き合うことで患者個々人に合った総合的な疾病の予防・診断・治療のノウハウを習得できます。また、中規模病院の良さである診療科の垣根を超えた親密かつ柔軟な指導が、受けられます。是非、当院での研修をお待ちしています。

病院の 特徴

政策医療における「がん」の専門医療施設としての高度医療の推進。また、病院群輪番制病院（成人及び小児の第二次救急医療病院）、鳥取県唯一の献腎移植施設、がん診療連携拠点病院に準じる病院、非血縁者間骨髓採取・移植施設、地域医療支援病院の指定を受けており、鳥取県西部地域の中心的医療機関として地元医師会とも緊密に連携し地域医療に貢献している。鳥取大学の関連病院として人事交流がある。初期臨床研修医を対象に国立病院機構本部および中国四国グループ主催の研修会に参加することにより、他施設の研修医とともに指導医による研修会を通じレベルアップを図ることができる。

▶ 開設 年／昭和21年

▶ 病床 数／270床

▶ 標 榜 科／24科

総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、血液・腫瘍内科、神経内科、肝臓内科、腎臓内科、小児科、消化器外科、整形外科、胸部・乳腺外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア内科、精神科、心療内科（24科）

▶ 医 師 数／37人（令和5年4月1日現在）

▶ 指 導 医 数／28人（令和5年4月1日現在）

▶ 外来患者数／1日平均 360.4人（令和4年度）

▶ 入院患者数／1日平均 189.4人（令和4年度）



voice

指導医

ふく き まさはる
福木 昌治



当院は、緩和ケア病床20床を含む計270床を有する鳥取県西部地区の基幹病院です。中規模な病院ではありますが、鳥取県西部地域に必要な急性期医療と2次救急医療、一般診療を行うといった地域の中核病院としての必要機能を有した上で、がん医療に特化した医療を提供することができます。がん医療としては、外科治療、化学療法、放射線治療といった集学的医療の提供が可能です。また、今後の医療を支えていくべき人材として、研修医の臨床研修、医学生の臨床実習、看護学生の看護実習なども積極的に受け入れています。平成30年には、病院に隣接して医療連携センターを増築し、シミュレーションラボが充実しています。指導医としても研修医指導を通じて、ともに成長していけると実感しています。

研修医

まえ た だい き
前田 大輝



当院で研修生活が始まっては、や2ヶ月半が経過しました。学生の間には経験したことがないことばかりで、日々勉強しなければいけないことばかりですが、指導医の先生方も非常に優しくさまざまなことを教えてくださり、充実した毎日のなか成長していると実感しています。

当院は研修医の数は少ないですが、その分先生方が色々とお声をかけてくださり、手技や症例数を含め非常に多くの経験をさせていただいております。

スタッフ間の仲が良く、スタッフの方々の人柄が当院の大きな魅力の一つであると思っています。慣れないことばかりでミスをしそうなことなどがある中でも、スタッフの皆様に優しく指導していただいております。指導医の先生を含めスタッフの方々に助けていただきながら、非常に充実した研修の日々を過ごしております。



初期臨床研修プログラム

目 標

医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につける。

特 徴

- ・内科24週、救急12週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週（鳥取大学医学部附属病院）、精神科4週（米子病院）、地域医療4週、一般外来4週、など、必須の研修を満した上で、残りの期間を自由選択科目にあて、研修医の自由な選択による研修を行う。
- ・各科専門指導医とともに、日当直を行いマンツーマンでの指導を受ける。
- ・協力病院、施設において短期間の研修を実施する。

年間研修計画

	1週～	5週～	9週～	13週～	17週～	21週～	25週～	29週～	33週～	37週～	41週～	45週～
一年次	救急基礎研修(4週)	内科24週(並行研修として一般外来4週を含む) + 並行研修として救急部門6週								小児科4週 + 救急部門2週	外科4週 + 救急部門2週	
		救急医療(救急基礎研修4週含む)は2年間を通じて12週以上										
二年次	地域医療(4週)	産科婦人科(4週)	救急救命科(4週)	精神科(4週)	自由選択(32週)							
	救急医療(救急基礎研修4週含む)は2年間を通じて12週以上											



日当直回数

2回/月

当直時間: 17時15分～翌8時30分

翌日勤務: 通常勤務(8時30分～16時30分)

待遇

- ▶ 基本給 / 1年次 月額(税込) 350,000円
2年次 月額(税込) 378,000円
- ▶ 賞 与 / 1年次 年額(税込) 227,500円
2年次 年額(税込) 378,000円
- ▶ 手 当 / 通勤手当、超過勤務手当、
宿日直手当、特殊業務手当
- ▶ 勤務時間 / 8時30分～16時30分(7時間/日)(35時間/週)
- ▶ 休 暇 / 週休2日制、有給休暇(年23日)
- ▶ 宿 舎 / 有(借り上げ宿舎、月額負担1万円程度)
- ▶ 保 険 / 健康保険、厚生年金、雇用保険、
労災保険

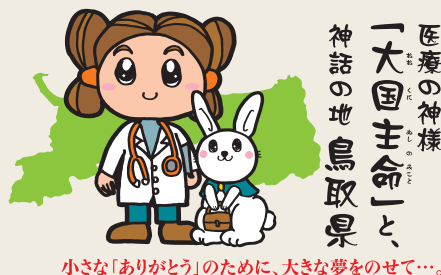
募集要項

- ▶ 採用予定人数 / 3人
- ▶ 応募資格 / 令和6年(第118回)医師国家試験を受験する者、または、既に医師国家試験に合格している者で初期臨床研修を希望する者。
- ▶ 試験日等 / 令和5年8月～9月予定
※詳細はホームページをご覧ください。
- ▶ 応募連絡先 /
独立行政法人国立病院機構米子医療センター
〒683-0006 鳥取県米子市車尾4-17-1
担当 / 庶務班長 葛馬 祐子
TEL / 0859-33-7111 FAX / 0859-34-1580
E-mail / kuzuma.yuko.np@mail.hosp.go.jp

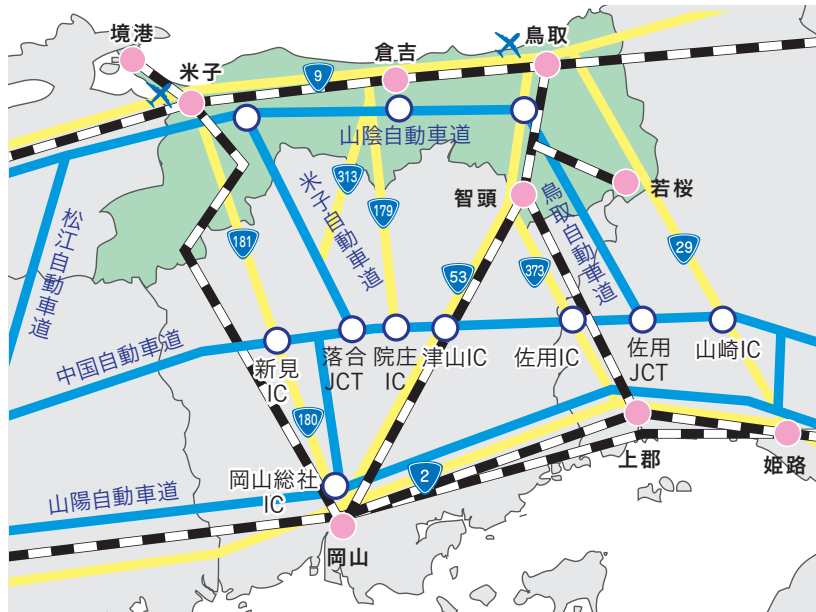
主な取組

研修医を対象とした県外講師等による臨床研修セミナーを開催します。

鳥取県の臨床研修病院の魅力を知らいただくため、ホームページを作成しています。各病院の最新情報、プロモーションビデオなど魅力満載ですので、ぜひご覧ください。



鳥取県へのアクセス



鉄道の場合

※時間は目安です

東京・名古屋
京阪神方面

山陽・九州方面

東京・名古屋
京阪神方面

山陽・九州方面

東京・名古屋
京阪神・山陽
九州方面

鳥取

大阪～鳥取
約2時間20分

智頭急行「特急スーパーはくと」

岡山～鳥取
約1時間40分

智頭線・因美線「特急スーパーいなば」

倉吉

大阪～倉吉
約3時間

智頭急行「特急スーパーはくと」

岡山～倉吉
約2時間40分

智頭線・因美線「特急スーパーいなば」、
山陰本線

米子

岡山～米子
約2時間

伯備線「特急やくも」

JRご利用の所要時間

	鳥取	倉吉	米子
東京	約4時間50分	約5時間30分	約5時間30分
名古屋	約3時間10分	約3時間50分	約3時間50分
京都	約2時間50分	約3時間30分	約3時間20分
大阪	約2時間20分	約3時間	約3時間10分
岡山	約1時間40分	約2時間40分	約2時間
広島	約2時間30分	約3時間30分	約2時間50分



自家用車の場合

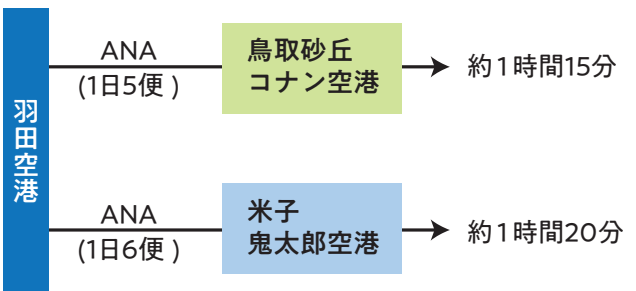
※時間は目安です

	鳥取	倉吉	米子
東京	約8時間	約8時間40分	約8時間40分
名古屋	約4時間20分	約5時間	約5時間
大阪	約2時間30分	約3時間20分	約3時間20分
岡山	約2時間30分	約2時間	約2時間
広島	約4時間	約3時間20分	約3時間
福岡	約7時間10分	約6時間40分	約6時間



飛行機の場合

令和5年6月1日現在



※発着時刻、便数はお断りなしに変更となる場合があります。
運航等の詳細は、航空会社にご確認願います。



鳥取県内の 臨床研修病院

01 鳥取県立中央病院

〒680-0901 鳥取県鳥取市江津 730
TEL : 0857-26-2271

02 鳥取市立病院

〒680-8501 鳥取県鳥取市の場一丁目 1 番地
TEL : 0857-37-1522

03 鳥取赤十字病院

〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町 117 番地
TEL : 0857-24-8111

04 鳥取生協病院

〒680-0833 鳥取県鳥取市末広温泉町 458
TEL : 0857-24-7251

05 鳥取県立厚生病院

〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町 150
TEL : 0858-22-8181

06 鳥取大学医学部附属病院

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1
TEL : 0859-38-7025

07 山陰労災病院

〒683-8605 鳥取県米子市皆生新田 1-8-1
TEL : 0859-33-8181

08 米子医療センター

〒683-0006 鳥取県米子市車尾 4-17-1
TEL : 0859-33-7111

発行元・お問い合わせ先

鳥取県臨床研修指定病院協議会
(事務局)

鳥取県福祉保健部健康医療局
医療政策課医療人材確保室

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町 1-220
TEL : 0857-26-7195 FAX : 0857-21-3048
Mail : ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

令和 5 年 6 月発行